

廃棄物からの安全な汚染対策は？ 県環境整備センターを視察

11月17日、県議団は寄居町の「埼玉県環境整備センター」を視察しました。市町村からの一般廃棄物や県内中小企業からの産業廃棄物を受入れ、最終処分として埋め立てています。遮水シートに万一にも穴が空いた場合、感知する導電性マットや、穴を自動的に修復する自己修復マットなど、何重もの安全対策が施されています。



処分場地内を関係者の案内で視察する村岡（左2人目）など

12月定例県議会 村岡、本会議場での最後の質問

マイナンバーカード問題や農業危機 特別支援学校充実など質す

12月定例県議会、13日、私は一般質問に立ちました。本定例会では、共産党県議団から守屋ひろ子県議と私村岡、二人の県議が質問に立ち、質問項目を分担しました。私は、一問一答方式の質問で、マイナンバーカード問題や農業危機、特別支援学校の充実など取り上げました。いずれも国の悪政がおもとにあり、「地方から声をあげよ」と求めました。満足な答弁ではありません。



本会議場で質問する

主な質問項目

- 1 マイナンバーカードは任意、強制があつてはならない
- 2 「コメ作ってメシ食えな」農政の転換を本気で
- 3 肢体不自由児特別支援学校の川口設置に全力を
- 4 小水力およびマイクロ水力発電の促進を図れ
- 5 ビスフェノールA（環境ホルモン）について
- 6 県民の命・くらしを支える職員体制の確立を
- 7 埼玉会館にはタイムカプセルがある

政府各省へ県民要望を届ける 厚労省、文科省、農水省などへ、



政府各省へ要望書を手渡す参加者

11月18日、政府各省との省庁交渉でした。埼玉県委員会、党県議団はじめ地方議員が参加、塩川鉄也衆院議員、伊藤岳参院議員、岩淵とも参院議員が出席しました。厚労省から始まり、内閣府、農水省など、様々な課題で、くらしの現場から、住民の生の声を届け、予算要望を行いました。川口から参加した山崎すなお県議予定候補は、高校でのタブレット問題での要望など、3月まで高校の先生だっただけにリアルで説得力ある訴えでした。



厚労省に県民要望を訴える村岡（右）
文科省に高校教育で訴える山崎県議予定候補（下）



村岡質問を傍聴して
山崎 すなお
県民の声を届け続けてきた村岡議員の質問。農家や障がい者など、弱い立場に立つ人たちにしっかりと寄り添う姿勢。環境ホルモン対策や再生可能エネルギーの普及など、持続可能な未来を見据えた視点。豊かな人間性をはぐくむ芸術文化への熱い想い。県民とともに歩んできた村岡県議の人柄がよくわかる質問内容でした。県民のいのちとくらし、教育や生業を守るため、たたかい抜いたヒーロー。本当にありがとうございました。

県議会委員会で滋賀県内へ 浄水場の発電と農業法人を視察

11月21日、22日、県議会環境農林委員会で、滋賀県を視察。21日には、滋賀県企業庁・馬淵浄水場の長福寺マイクロ水力発電所を視察しました。22日には、彦根市のフクハラファームを視察。ファームは本州最大規模の約2000畝の農地を預かる農業法人で、スマート農業の推進、アイガモ農法、有機栽培など、様々な手法を駆使して頑張っている農家です。



滋賀県企業庁で説明を聞く

お悩みやご要望など、ご相談も村岡へ

日本共産党県議会議員
2022年12月号 NO21
村岡まさつぐ県政ホットライン
(県政事務所ニュース)



発行 村岡まさつぐ県政事務所 川口市芝西2-26-20
☎ 048-485-8526

連絡先 党埼玉県議団 048-824-3413

フェイスブックで発信中 ぜひご覧ください。



まさつぐのティータイム (20)

誰もが、子どもの頃、大切な何がしかを箱に入れ、どこかに埋めた経験をもつはず。メンコやオモチャ、手紙など、ハッキリと思いつけないが、なぜか箱は錆びてしまふのにブリキだった気がする。自分だけのタイムカプセルだが夢がありました。よく学校で卒業記念にタイムカプセルを埋め、成人してから掘り起すニュースがあったが、最近は見聞かない。たわいのない夢でも、「夢」はあった方がいい。

「埼玉会館にはタイムカプセルがある」。会館竣工時に埋められたものだ。それを、私は12月議会で指摘した。その時だけは、何か議場がなごんだ気がした。50年も前に、大人たちがタイムカプセルを埋めたのだ。昔の大人には夢心があったのだらう。それがかつこ良く見えてくる。



埼玉会館

タイムカプセル



新署名スタート集会風景

「水道料値上げ反対市民の会」の「新署名」スタート集会で報告

10月30日、「水道料金値上げに反対する川口市民の会」の「新署名スタート集会」が開かれました。川口市の水道の80%は県水を使用しています。村岡は、その埼玉県水の「20%値上げの動き」をテーマに、特別報告しました。

安心して渡れる交差点・道路を！ 現地を調査し、県警に要望



埼玉県警に要望する



横断歩道を調査する



音響信号機設置で現地を調査

11月2日、視覚障がい者の方の「音響信号機をつけて」の要望があり、現地調査。松本幸恵市議、矢野ゆきこ市議、ふじしまともこ市議予定候補も参加しました。

11月2日、「横断歩道に信号機をつけて」の要望で、ふじしまともこ市議予定候補と現地調査。注意喚起の標識と歩道を塗り直すことも必要です。

11月10日、交差点の音響付信号機や歩行者用信号機の設置、消えなかった横断歩道の補修など求め、山崎すなお県議予定候補、松本幸恵市議、ふじしまともこ市議予定候補と、県庁で埼玉県警へ要請しました。

くらしと政治を語り 市内各地で、議会報告など



囲む会風景



街頭演説会風景



「まつり会場」で



「友の会」で訴える



「市民のつどい」で訴える



鳩ヶ谷で、議会報告



芝園芝富士地域の報告会

11月30日、安行地域で「山崎すなおさんを囲む会」が開かれ、私は県政報告をさせて頂きました。山崎さんは自己紹介と県議挑戦の決意をのべ、新井たかね元川口市議が山崎さんへの期待を語り、支援を訴えました。

11月27日、神根地域で街頭演説、山崎すなお県議予定候補と井上かおる市議の応援に、石井たけし元県議、藤野泰弘元県議もマイクを握りました。「皆さんのご支援を」と、高齢を全く感じさせない力強い挨拶でした。

11月27日、芝の「JCPサポーターしば」主催の「しばみんな元気まつり」に、山崎すなお県議予定候補、ふじしまともこ市議予定候補と駆けつけました。金魚すくいやヨーヨーすくいなど楽しい企画もあり、大勢のこどもたちも参加していました。

11月27日、「南平友の会」による議会報告会。金子ゆきひろ市議、村岡がそれぞれ議会報告を行い、その後、山崎すなお県議予定候補、ふじしまともこ市議予定候補が決意をのべました。

11月24日、山崎すなお県議予定候補、矢野ゆきこ市議、村岡の3人で、西並地域の「市民のつどい」に出席しました。雨の中を大勢の方に参加頂き、山崎さんへの熱い期待の発言も出て、有意義なつどいとなりました。

10月29日、鳩ヶ谷で議会報告会です。金子ゆきひろ市議と参加しました。

「統一協会と関係のある議員はいらっしゃるか」など、質問が寄せられました。

10月29日、芝園芝富士地区で議会報告会が開かれ、ふじしまともこ市議予定候補と参加しました。村岡の議会報告、ふじしまさんの訴えのあと、「マイナンバーカードは作らなくてはならないのか」など、質問が寄せられました。

2月定例県議会開会 — 県民の願い実現に全力！

2023年度当初予算案は
一般会計は2兆2100億円、前年比0.8%の減です

主な事業は

- ・コロナ対策として、ワクチンバスの活用による接種の促進
- ・保育所等で新たに勤務する保育士に対し、奨学金の返済支援を行う市町村への助成
- ・川口特別支援学校の校舎増築
- ・電動車等の導入促進に向けた助成など

2023年度組織・定数改正では、

- ・全国植樹祭推進課の新設
- ・職員定数は7060人から7138人へ（78人増員）

2023年度予算案は、予算特別委員会で審議

共産党から、村岡と柳下県議が委員として参加

いま、コロナ感染、物価高騰、経済疲弊、鳥インフル対策等の危機管理、大軍拡と県内基地強化など、県政の課題は山積しています。党県議団は、県民の命、暮らし、生業を守るため奮闘します。

新年度の予算要望への回答 — 大野知事から党県議団へ



大野知事から予算要望への回答を手渡される。大野元裕知事より、党県議団の新年度予算要望に対する回答がありました。（タブレット回答）説明の中で「コロナ感染に関わり、第5類移行に伴い、国はこれまでのコロナ感染症対応がゼロにしてしまいが、県としては必要な対策は講じなければならぬ、国がどうするか、移行後でないかと分からない」との説明でした。これは大問題です。

2月13日、

受験生の痴漢被害防止強化を —

党県議団 埼玉県に要望



砂川副知事に要望する党県議団

遅刻できない受験生への痴漢被害が続発しています。1月24日、党県議団は、「受験生をねらった痴漢加害防止と被害者救済の強化」を、埼玉県に要望しました。応じた砂川副知事は、要望に「HPの記載に準じて、痴漢被害が追試験の対象になる旨を記載し、周知する」と回答。一歩前進です。

新たな特別支援学校の開校 医療的ケア児等支援センターも開設

新年度から岩槻はるかぜ特別支援学校が開校します。党県議団が県政に届け実現できなかった。学校新設で、過密状況が一歩緩和されていきます。また、1月には、待ちに待った県医療的ケア児等支援センターも開設されました。党県議団も医療的ケア児への支援強化をくりかえし県に要望し、実現しました。



埼玉新聞1月24日付け

「物価高騰で事業が危機」など訴え 埼玉土建、農民連が埼玉県に要望



大野知事と懇談する埼玉土建労組役員みなさん

12月15日、埼玉土建労組の斎藤委員長ら役員の方々が大野元裕知事に面談し、建設産業の現状と課題解決で懇談しました。「想像以上の物価高騰で現場が大変」「賃金は上がらない」「公契約条例が必要」など、訴えました。



埼玉県に要望書を提出する農民連のみなさん

1月24日、埼玉県農民連が県へ予算要望。飼料高騰による畜産農家の危機、コメ作ってメシ食えない米作農家、県が埼玉農業を守る先頭に立って、など農家の参加する県農民連の皆さんが来年度予算への要望を提出し、県執行部と懇談を行いました。

タイムカプセル関連

会館に当時資料を展示

1月、埼玉会館地下正面脇の歴史コーナーに、タイムカプセルを入れた定礎箱を栗原元知事が埋めていた新聞記事などが展示されました。私が、12月議会で、「タイムカプセルが埋められていく。県民に伝えて欲しい」と要望したものです。多くの方々に見て頂きたい。



埼玉会館地下の展示コーナー

お悩みやご要望など、ご相談も村岡へ

日本共産党県議会議員 2023年 2月号 NO22
村岡まさつぐ県政ホットライン
(県政事務所ニュース)



発行 村岡まさつぐ県政事務所 川口市芝西2-26-20
☎ 048-485-8526

連絡先 党埼玉県議団 048-824-3413

フェイスブックで発信中 ぜひご覧ください。

【共産党 請願の紹介議員率 NO.1】

2019年6月～2022年12月までの約4年間で 日本共産党県議団は県民から提出された請願29件のうち27件の紹介議員に。

※紹介議員率93%

※請願署名合計数33万4385筆

県議会のなかで共産党が紹介議員率 NO.1!!

県民の声を県政につないでいる証です。

まさつぐのティータイム (21)

選挙目前です お力をお貸し下さい
「日本共産党に入党して下さい」

岸田政権は「大軍拡」＝「戦争する国」へと突き進んでいます。タモリさんは「新たな戦前」と言いましたが、統一地方選挙は「戦争か平和」がかかっています。反戦平和を貫く日本共産党の出番です。山崎すなお県議予定候補と6名の市議予定候補の全員勝利へ力をお貸し下さい。

平和と民主主義の危機、自己責任の押し付け、ジェンダー不平等社会や進まない気候危機対策……。理不尽な現実を前にして、あなたも、自分はどうすべきかを深く考えているのではないのでしょうか。

歴史をつくるのは、人々のたたかいです。自らの幸せと社会進歩を重ねて生きる、生きがいのある人生への一歩を、ともに踏み出そうではありませんか。

日本共産党への入党を心からよびかけます。

大軍拡と大増税を許さない、政治を変えよう！ 各地で、「旗びらき」「新春のつどい」続々……



「豊かな埼玉をつくる
県民のつどい」会場で



埼労連のつどいで、頼
高英雄藤市長と



社会保険労務士会の交歓
会で、伊藤岳参院議員と



川口民商「新春のつどい」
の集合写真

1月6日、埼玉新聞社主催の「豊かな埼玉をつくる県民の集い」が3年振りに開催され、埼玉県政界、産業界などの代表が参加しました。

7日には、埼労連の「新春旗びらき」が開催され、共産党を代表して挨拶。頼高英雄藤市長も来賓として参加。蕨市ではこの6月市長選挙です。蕨市の舵取りは頼高市長以外に考えられません。

また、12日には、埼玉県社会保険労務士会関係4団体の新年賀詞交歓会が開催され、大野元裕知事はじめ多数が参加しました。



埼玉土建「旗開き」であい
さつする村岡

1月9日、埼玉土建労組の「旗びらき」が開かれ、大野元裕知事も駆けつけ祝辞。主催者の斎藤委員長は、「平和であつての建設産業、大軍拡と大増税は許さない、政治を変えよう」と訴えました。



政府省庁に県民・市民の要望
実現求める山崎さんなど



増田協同病院長にコロナ感染
関連など聞く山崎さんなど



山崎さん、村岡、川口商工会
議所細野新会頭と懇談する

現場の声を県政、市政に届けます 山崎すなおさんと6名の市議予定候補 勝利めざし大奮闘！



党市暮らし相談室長
ふじしまともこ



市議会議員
井上かおる



市議会議員
矢野ゆき子



市議会議員
板橋ひろみ



市議会議員
松本さちえ



市議会議員
金子ゆきひろ

ふじしま市暮らし相談室長は、市内の道路補修を求める声を聞き、村岡県議と現地調査しました。

井上市議は、川口駅前、「大軍拡、大増税許さない」のプラスターを掲げて、訴えました。

矢野市議は、チラシをかざし、岸田内閣の大軍拡を許さず、暮らしを守れと訴えました。

板橋市議は県道整備で、地域住民とともに、埼玉県に歩道と側溝の改善を要望しました。

松本市議は、視覚障害者の信号機改善を求める要望で現地調査。県警に要望しました。

金子市議は、岸田内閣の大軍拡、大増税を批判し、暮らし・福祉守る共産党を訴えました。

教え子の姿思い起こし、決意
党市県政対策委員長 山崎すなお

ひとり親家庭で祖母の世話をしていたヤングケアラーの生徒。積立金滞納が続いて修学旅行に行けなかった生徒、部活がやりたくて入学した子が部活のお金が払えなかったことなど。15年間の教師生活のなか、生徒たちとのたくさんのお会いがありました。子供たちがやりたいことや夢をあきらめなければならぬ。こんな現実を変えたい。

憲法で義務教育は無償とされているのに保護者負担は重すぎます。お金の心配なくすべて暮らせる埼玉に、みなさんの声を県政に届けます。



つどいの参加者にお話する山崎すなおさん

月刊もえ通信



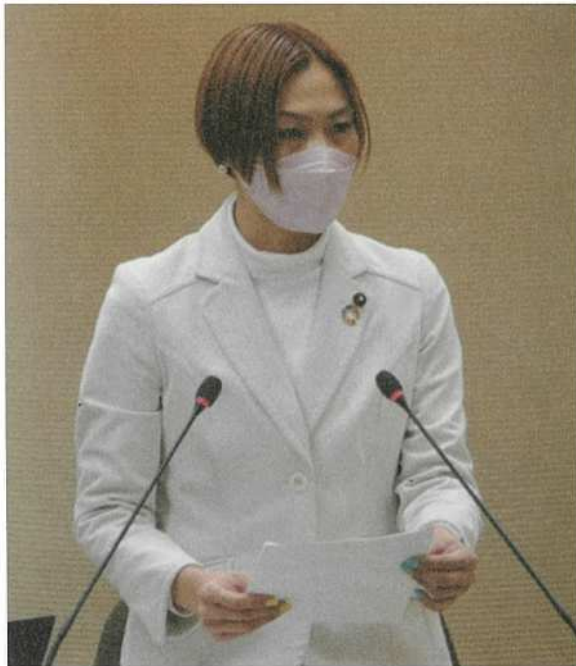
2022年4月号 **4**
日本共産党
埼玉県議会報告
県議会議員 秋山もえ
(上尾・伊奈選出)

発行/日本共産党埼玉県議団

〒330-9301埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1埼玉県庁内
tel 048-824-3413 fax 048-825-1048 mail: jcp-sai@apricot.ocn.ne.jp

県民要望まっすぐ届ける

予算特別委員会
ハイライト



予算特別委員会で質問する秋山もえ県議

3月9日から7日間、予算特別委員会が開かれ、埼玉県の新年度予算について審議しました。今回、私が質問で取り上げたのは、**ウクライナ難民**への支援、**埼玉朝鮮学校**への県補助支給の即時再開、**教員の未配置・未補充**の解決、**県水値上げ**問題、**高等技術専門学校**の拡充、県として**パートナーシップ制度導入**、福祉施設での**PCR検査拡充**、**発熱外来**を広げることや**病床**の増設など多岐に渡ります。

その他にも、共産党として、**県営団地**の増設や**県産木材**の利用拡充、**デジタル化**により懸念されることなどについても県に質しました。



審議している委員会の様子



ライブ報告する秋山もえ県議と村岡まさつぐ県議

FBでライブ報告しました!

県政をもっと身近にしたい!という思いで、'予算特別委員会のあった日の夕方から、一緒に予算特別委員会の委員をしている村岡まさつぐ県議とともに7回ほど**ライブ報告**をしました。FBライブと Twitterスペースの同時配信で、アーカイブも残し、YouTubeの**秋山もえチャンネル**にもアップしていますので、ぜひご覧ください。



秋山もえのプロフィール

1976年(昭和51年)千葉県木更津市生まれ。新聞奨学生として働きながら大東文化大学国際関係学部(ウルドゥー語専攻)を卒業。上尾市議3期。現在、県議1期目。家族は夫と子3人。埼玉県手話通訳問題研究会会員。Ally(性的マイノリティ支持者)。身長170cm。趣味はカフェめぐり、セルフヨガ、ネイル、サウナ。

★なにかお困りごとや伝えたいことがありましたらメールにてご連絡ください。mugendai2010@docomo.ne.jp



ニューシャトルの運賃引き下げ・定期券割引率アップを



埼玉新都市交通(株)へ要望書を届け、代表取締役の常務はじめ、総務部の幹部のみなさんと懇談しました(2月14日)。コロナ禍で家計が苦しくなる中、**ニューシャトルの運賃引き下げや、高校生・学生の定期券割引率の引き上げ**がますます求められています。一方で、コロナの影響で乗降客が減り、経営が赤字となっている実態も。**公共交通機関**を守るため国や県の支援が求められます。

◀要望書を提出。左から秋山もえ県議、伊奈町の住民、大沢じゅん伊奈町議、新藤たか子上尾市議

オンラインで福岡県や大阪府を視察

コロナの感染拡大の中、予定していた他県への視察が困難に。とはいえ、埼玉県に重要な施策を提案していくためには、やはり先進自治体の職員などから直接話が聞きたい!ということと、**福岡県や兵庫県、大阪府**、また県内にある**ブラジル人学校**など、オンラインでの視察を実施。学んだことを予算特別委員会の審議に生かすことができました。



オンライン視察をする秋山もえ県議

確かな技術を身につけ 就職率100%

埼玉県の**中小企業支援**の要は、高等技術専門学校での取り組みだと県から伺い、上尾市内にある**中央高等技術専門学校**を視察しました。クラス定員25人の少人数制。実践的な授業(2年コース)を行い、資格取得をサポート。なんと中央高技専の**就職率は100%**だといえます。ものづくりの核となる技術をしっかり伝え、即戦力となり得る方たちを育成している高技専。埼玉県の宝です。



中央高等技術専門学校で視察する秋山もえ県議(右)



聞こえない人たちの暮らしや困難 手話について知ってほしい

埼玉県聴覚障害者協会の事務局長が党県議団控え室にお見えになりました。ぜひ県議会で手話に関わる勉強会を立ち上げてほしい、と。

すべての県議が、**聞こえない人たちの暮らしや困難**について知ることは、とても重要です。あわせて**手話言語法制定**に向け、国に対しひきつづき要望していきます。

◀県聴覚障害者協会事務局長から冊子を受け取る前原かづえ県議と秋山もえ県議(左)

県政トピックス

ロシアのウクライナ侵攻に対し 埼玉県議会が抗議の決議を採択!

2月28日の本会議冒頭「**ロシアによるウクライナへの侵攻に対する抗議決議**」を埼玉県議会として全会一致で採択しました。決議は次のような中身です。

「我が国を含む国際社会が強く自制を求める中、ロシアは本年2月24日、ウクライナを侵攻した。ロシア軍によるウクライナへの侵攻は、**力による一方的な現状変更を認めない**との国際秩序の根幹を揺るがすとともに、ウクライナの主権と領土の一体性を侵害する**明白な国際法・国連憲章違反**であり、断じて容認することはできない。よって、本県議会は、今回のロシアによるウクライナへの侵攻に対し強く抗議するとともに、**軍の即時撤収、国際法の順守**を強く求める。以上、決議する。」



SNSで「ウクライナ侵略やめよ」と呼びかける秋山もえ県議のパナー

月刊もえ通信



2022年6月号 **6**
日本共産党
埼玉県議会報告
県議会議員 秋山もえ
(上尾・伊奈選出)

発行/日本共産党埼玉県議団

〒330-9301埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1埼玉県庁内
tel 048-824-3413 fax 048-825-1048 mail: jcp-sai@apricot.ocn.ne.jp



気候危機を止めるためCO₂削減

待ったなし!

埼玉県環境科学国際センターを村岡県議とともに視察しました。県がCO₂削減にどう取り組んでいるのか、取り組むための計画の根拠となるCO₂排出量はどのように計算されているかなど、説明を受けました。写真はセンター内にある「展示館“彩かんかん”」。楽しみながら環境問題が学べる展示館で、子どもたちがたくさん訪れているとのこと。



埼玉の農業を盛り上げよう

みなさんは、埼玉県が米やイチゴの品種開発に尽力していることをご存知でしょうか。埼玉の米と言えば、彩のかがやき、彩のきずなが有名です。そしてイチゴは、べにたま、あまりん、かおりん。新しい品種の研究には、なんと5年～10年かかるとのこと。埼玉の農業の中核を担っている埼玉県農業技術研究センターでイチゴを試食しながら、研究予算確保と研究者の増員が重要だと感じました。



秋山もえのプロフィール

1976年(昭和51年)千葉県木更津市生まれ。新聞奨学生として働きながら大東文化大学国際関係学部(ウルドゥー語専攻)を卒業。上尾市議3期。現在、県議1期目。家族は夫と子3人。埼玉県手話通訳問題研究会会員。Ally(性的マイノリティ支持者)。身長170cm。趣味はカフェめぐり、セルフヨガ、ネイル、サウナ。

★なにかお困りごとや伝えたいことがありましたらメールにてご連絡ください。mugendai2010@docomo.ne.jp



大谷本郷の押しボタン式信号機を定周期信号機に



大谷第三学童保育所向かい側の交差点は、非常に事故が多く、周辺住民のみなさんからは、交差点の信号機を手押しボタン式ではなく、一定の時間で信号が青になる定周期信号機に変えてほしいという要望が。さっそく、県警本部や県土事務所、上尾警察、上尾市道路河川課の職員のみなさんに、地元住民の声を聞いてもらい、なにができるか知恵を出し合いました。

とりいそぎ、カーブミラーの改善やグリーンベルトの延長などを検討・実施してもらえることに。今後、もしも定周期信号の設置を目指す場合、道路拡幅が必要となります。事故の無い安全な道路環境への改善に向け、今後も力を尽くします。



痴漢・盗撮ゼロの埼玉を目指して

とても身近な性暴力である痴漢と盗撮。被害者の多くは女性で、日常生活が送れなくなるほど深刻なダメージを受けている方もいます。

この間、入試に向かう女子高校生へ痴漢をしよう、などという教唆がネット上で呼びかけられたことについて県民から「県として対策を！」との要望が党県議団に寄せられました。すぐに県警に対し警備要請をするとともに、鉄道事業者に対し、対策を強化するよう求めました。今後は、痴漢被害Webアンケートをもとに、さらなる対策強化を県や国に対し求めています。



梅村さえこさんとともに



新藤市議(左)、平田市議(右)と参加

核戦争の危険から女性と子どもの生命を守ろう！

1962年に、平塚らいてう、いわさきちひろらの呼びかけで創立された新日本婦人の会。会の目的には「核戦争の危険から女性と子どもの生命を守ります」とあり、ウクライナ侵略を続けているロシアが核兵器使用も辞さないとしている危険な情勢の今こそ、新婦人の出番だと痛感します。上尾支部の定期大会に参加し、その想いをあいさつに込めました。

県政トピックス

埼玉県政の課題は？

2月定例の県議会でどんな予算が成立したのか、県政の課題は何かなど、議会報告をしながら地域を回っています。コロナをふまえた病床確保や教員の未配置・未補充の解決は、待ったなしです。さらに今後は、水道料金の20%近い値上げや県営団地縮小の懸念があります。

県民にとって不利益となる問題については、大野知事に対し、しっかり再検討を求めています。





発行／日本共産党埼玉県議団

〒330-9301埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1埼玉県庁内
tel 048-824-3413 fax 048-825-1048 mail: jcp-sai@apricot.ocn.ne.jp

下水処理で温室効果ガス削減に取り組む

中川水循環センター視察



汚泥の高濃度処理施設の説明を受ける秋山もえ県議(中央)

埼玉県の下水道処理施設のひとつで、下水道処理人口が全国3位の中川水循環センターを視察しました。

汚水に含まれる汚泥を高濃度に濃縮する施設と微生物により汚泥に含まれる有機物を分解しバイオガスを発生させる消化タンクを導入した当センター。汚泥を高濃度濃縮することで汚泥を1万トン削減し、発生したバイオガスで汚泥を焼却することで年間の二酸化炭素を一般家庭3100世帯分ほど削減可能に。

県として取り組める地球温暖化対策のひとつとして注目され、他県からの視察が絶えないとのこと。とても勉強になりました。

検査の拡充・保健所の強化を コロナ第7波で 知事要望

コロナ感染の第7波から県民の命を守るため、検査の拡充、保健所体制の強化、ワクチン接種、自宅療養者への対応、感染防止対策協力金などについて日本共産党県議団として知事に要望。副知事が対応してくださいました。

感染の波がいったん落ち着くと、のど元過ぎればで、検査体制の手を緩めたり、医療や保健所の体制についても、ほっと一息ついてしまうことが繰り返されています。感染拡大時の緊急の手立てとともに、コロナ時代を踏まえ、医療体制強化、医師不足の解決、保健所の増設などにより、抜本的な県政の転換が必要です。



秋山もえのプロフィール

1976年(昭和51年)千葉県木更津市生まれ。新聞奨学生として働きながら大東文化大学国際関係学部(ウルドゥー語専攻)を卒業。上尾市議3期。現在、県議1期目。家族は夫と子3人。埼玉県手話通訳問題研究会会員。Ally(性的マイノリティ支持者)。身長170cm。趣味はカフェめぐり、セルフヨガ、ネイル、サウナ。

★なにかお困りごとや伝えたいことがありましたらメールにてご連絡ください。mugendai2010@docomo.ne.jp





沿道から手を振る秋山もえ県議(左から2人目)

65回目の国民平和 大行進に参加

65回目となる国民平和 大行進が上尾駅東口から上尾市役所にかけて行われ、私も参加しました。ロシアによるウクライナ侵略が行われている最中での平和 大行進。核兵器による威嚇は許さない。核兵器の使用などとんでもない。そんな思いを胸に、歩きました。

核兵器禁止条約への署名を拒み続ける日本政府の姿勢を変えていくためにも、みんなで声を上げていく時です。この地球上から、すべての核兵器を無くしていく、という人類の目標に向かって。

大島清伊奈町長と予算要望で懇談

毎年この時期に、伊奈町の大島清町長とお会いし、来年度の予算要望書をお渡ししながら、懇談をさせていただいています。今年も日本共産党町議団のみなさんの要望・懇談の場に同席させていただきました。



要望書を渡す伊奈町議団(左から大野町議、五味町議、大沢町議)と秋山もえ県議(右)



コロナ対策や、学校トイレの洋式化、学校体育館へのエアコン設置、さらにニューシャトル志久駅へのエレベーター設置や、ニューシャトルの運賃と定期代の引き下げなど、伊奈町民にとって切実な要望をどう実現していくか、大島町長のお考えや取り組みの計画などを聞くことができ、とても心強く感じた懇談でした。



大沢町議(左)とともに

伊奈町に念願の信号機2基 新設実現

今年3月22日、要望していた信号機2基の設置が3年越しで実現しました。押しボタン式信号機が旧大栄自動車交差点に、そして定周期信号機がK O D E N 前の交差点に新設されました。

伊奈町民のみなさんと党伊奈町議と力を合わせ、くり返し粘り強く県に要望することで実現できました。これからも、ひきつづき寄せられた要望実現のため頑張ります。

新型コロナ 抗原検査の強化 図られる

県政トピックス

コロナ感染拡大が広がる中、日本共産党県議団は県に対し、検査強化を求めてきました。医療機関での検査が困難になる中、県は WEB 申請による検査キットの郵送事業をスタートさせ、また市町村による検査キットの無料配布も始まりしました(どちらも50歳未満の県民が対象)。

感染拡大がいったん落ち着いたとしても、気軽に誰でも検査できる体制を維持することは、次の波に備えた重要な施策となります。前進させた検査体制を後退させず、さらに拡充するよう求めていきます。

市町村による抗原検査キットの無料配布について

1.目的

新型コロナウイルス感染症の陽性者が急激に増加しており、多数の患者の受診により医療機関がひっ迫するおそれがあります。

そこで、50歳未満の有症状者又は、濃厚接触者を対象に抗原検査キットの無料配布を行います。

埼玉県 HP より



発行／日本共産党埼玉県議団

〒330-9301埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1埼玉県庁内
tel 048-824-3413 fax048-825-1048 mail:jcp-sai@apricot.ocn.ne.jp

戸田かけはし高等特別支援学校と 不登校生徒支援教室「いっぽ」を視察



県立戸田かけはし高等特別支援学校は、戸田翔陽高校内にあり、できたばかりの高等部の特別支援学校です。とても広々とし、いたるところに県産木材も使われていて、木の香りに心が和みます。

どこの特別支援学校でも過密解消が課題ですが、同校の新設により、草加かがやき特別支援学校の過密状態が緩和されたとのこと。

また、戸田翔陽高校敷地内には不登校生徒支援教室「いっぽ」が開設されました。戸田市内の中学生で不登校の生徒が通える場所として、埼玉県がモデル的に始めた県独自の取り組みです。

義務教育段階の不登校生徒について、県が具体的な支援に踏み出したことは大いに評価できます。今後は、ここでの取り組みを検証しながら、県内にも広げていきたい、とのことでした。



「いっぽ」の教室を視察

高次脳機能障害の方への支援強化を



職員の説明を聞く秋山もえ県議(中央)

総合リハビリテーションセンターを視察

先天性の障害のある方をはじめ、高次脳機能障害など、後天性の障害者への支援に力を入れている総合リハビリテーションセンター。しかし、そもそも高次脳機能障害だと診断できる医師が少ない、という課題があります。リハセンとしても、どうしたら、診断できる医師を増やすことができるかが課題だと認識していて、研修などに力を入れている、とのことでした。



秋山もえのプロフィール

1976年(昭和51年)千葉県木更津市生まれ。新聞奨学生として働きながら大東文化大学国際関係学部(ウルトゥー語専攻)を卒業。上尾市議3期。現在、県議1期目。家族は夫と子3人。埼玉県手話通訳問題研究会会員。Ally(性的マイノリティ支持者)。身長170cm。趣味はカフェめぐり、セルフヨガ、ネイル、サウナ。

★なにかお困りごとや伝えたいことがありましたらメールにてご連絡ください。mugendai2010@docomo.ne.jp



いっしょに考えよう 埼玉県政

気候危機への対応

温室効果ガスの削減は、いまや一丁目一番地の政治課題です。しかし、埼玉県の取り組みは消極的。ついにカーボンゼロ宣言をしていない都道府県は、埼玉県を含む5自治体に。埼玉県は宣言を行い、本気の決意での取り組みを進めるときです。

とりわけ、埼玉県は年間日照時間が全国1位。太陽光パネルを公共施設はじめ県内各所に設置する計画をもち、県のポテンシャルを大いに生かすことが求められています。



ジェンダー平等の推進

全国の自治体に広がっているパートナーシップ制度は、同性婚を認めない日本政府の遅れた認識を変えていく上でも、また当事者の方たちの存在を社会が尊重する方向に変化していく上でも、とても重要な施策です。

しかし、埼玉県は県としての制度導入には後ろ向き。「誰一人取り残さない」埼玉を掲げているならば、県として導入するべきです。



教育予算を増やす

埼玉県の児童・生徒ひとりあたりの教育費は、全国47都道府県のなかで、小学校47位、中学校45位、特別支援学校43位と、かなり少ない状況です。正規教員の比率が88.9%で全国44位と低いことが主な原因です。また、県外の私立高校に通う生徒への父母負担軽減補助がないことや朝鮮学校への補助金を不当に不支給にしていることも、子どもたちを不平等・

不公平にあつかつており、大変問題です。少人数学級をすすめ、学校給食費を無料にするなど、子育て世代の願いに応える時です。



農業の振興

埼玉県は最大の食糧消費地・首都東京に隣接し、東京と全国を結ぶ交通・物流の拠点ともなっています。

この地理的特性と日照・土地など、恵まれた条件を生かした農業振興が課題。とりわけ県の農業経営を支える県農林部の試験・研究・養成職の職員が少ないことが、埼玉のポテンシャルを生かせない要因のひとつにもなっており、増員が必要です。

学校給食へ埼玉県産農産物の活用を進め、災害時などには農家への手厚い支援を行い、埼玉の農業を守り発展させていくことが重要です。



県政トピックス

女性県議と県女性幹部職員との交流会

2年ぶりに、女性県議と県女性幹部職員との交流会が開かれました。今年度は、部長級、副部長級、そして課長級も含めると、女性の幹部職員は50人ほどになる、とのこと。知事には、くり返し要望していますが、今後はぜひ、副知事3人のうち、少なくとも一人は女性を、と願っています。それにしても、党派を超えて、仕事の肩書きを脇においてつながれるというのは、本当に楽しい!!!



交流会に参加した秋山もえ県議(一番後列中央)

月刊もえ通信



2022年12月号 **12**
日本共産党
埼玉県議会報告
県議会議員 秋山もえ
(上尾・伊奈選出)

発行／日本共産党埼玉県議団

〒330-9301埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1埼玉県庁内
tel 048-824-3413 fax 048-825-1048 mail: jcp-sai@apricot.ocn.ne.jp



寄宿舎の談話室の前で話を聞く秋山もえ県議(中央)

埼玉県内で唯一の県立盲学校 埴保己一学園を視察

県内でただ一つの盲学校、埴保己一学園を視察しました。本学園は、明治41年に開校し創立115年目に。校名の埴保己一(はなわほきいち)は、埼玉県本庄市生まれで、江戸時代後期に活躍した全盲の国学者にちなんで、平成21年4月からこの校名に。現在、学園には幼稚部から高等部まで合わせて108名の在籍児者がいますが、じつ

は全国の盲学校の中でも100名を超えるのは本学園だけ。盲学校の増設が必要だと感じました。また寄宿舎は70名が利用しています。改善が必要な課題は、音声読み上げソフトに対応できる性能のいいパソコン整備や、寄宿舎へのWi-Fi環境整備とのこと。あん摩や鍼灸の国家資格を得るために勉強する生徒をしっかりサポートしたい、との校長先生の思いが、とても伝わってきました。

化学剤を用いたテロを想定 国民保護実動訓練に参加



被災者を救助する消防隊員の様子を撮影する秋山もえ県議(左)

埼玉県と富士見市の共催で国民保護実動訓練が行われ、来賓として参加しました。訓練の想定は、総合体育館でのイベント中に化学剤を用いたテロが発生し、被災者の救出が行われる中、近くから爆発物が発見される、というもの。

県警や消防本部、自衛隊、埼玉赤十字病院など多くの機関が参加し、それぞれ本当に迫真の演技、対応で、見ているこちらが怖くなりました。

もちろんテロに備えた訓練も大事ですが、テロが起きない社会を作るにはどうしたらいいか、社会不安や貧困解決のために政治がすべきことがあると、あらためて感じました。

秋山もえのプロフィール

1976年(昭和51年)千葉県木更津市生まれ。新聞奨学生として働きながら大東文化大学国際関係学部(ウルドゥー語専攻)を卒業。上尾市議3期。現在、県議1期目。家族は夫と子3人。埼玉県手話通訳問題研究会会員。Ally(性的マイノリティ支持者)。身長170cm。趣味はカフェめぐり、セルフヨガ、ネイル、サウナ。

★なにかお困りごとや伝えたいことがありましたらメールにてご連絡ください。mugendai2010@docomo.ne.jp



いっしょに考えよう 埼玉県政

保健所の新設を

現在、県内には県設置の保健所が13か所、政令市と中核市設置の保健所が4か所あります。上尾市や伊奈町、桶川市、北本市、鴻巣市の4市1町を担当しているのは鴻巣保健所です。

かつて上尾市には鴻巣保健所の上尾分室がありました。23保健所4支所(1997年度)→13保健所11分室(2006年度)→13保健所(2010年度)と統廃合が進められました。

いまコロナの経験をきっかけに、地域の公衆衛生強化を求める声が広がっています。上尾・伊奈地域に保健所新設を求めています。



県担当課から保健所行政についてレクチャーを受ける
秋山もえ県議(中央)と党上尾市議団・伊奈町議団

学校給食費を無料に

子育て支援の要は、子育てにかかるお金の負担を軽減することです。なかでも、いま全国で広がっているのが学校給食費の無償化。千葉県が第3子以降の無償化を県として検討しています。埼玉県も、無償化に向け、思い切って踏み出す時です。県が実施すれば、県内63市町村全体に無償化の波が広がるでしょう。

「それぞれの市町村において判断していただくべきもの」(知事答弁)ではなく、県こそが無償化推進の先頭に。



本気の中小企業支援を

埼玉県の企業の99.8%を占めるのが中小企業です。県内の商業・工業を支えている中小企業へ、県としてどんな支援ができるのか、本気で考えなくてはなりません。日本共産党県議団は、この間、融資制度の拡充やリフォーム助成制度の創設などを求めてきました。

コロナ禍で経営が悪化する事業所への支援、物価高騰への十分な支援が急がれます。県内経済を支えている中小企業、ものづくりを下支えしている中小企業を元気にする施策なしに、埼玉の活気は取り戻せません。

国に対しても、中小企業の賃上げへの支援を、しっかり求めていきます。



あげお産業祭に訪れた
秋山もえ県議(左)と
平田みち子上尾市議

障がい児者の福祉を手厚く

視覚や聴覚、肢体に障がいがある、あるいは知的・精神障がいの子どもや成人の方への支援は幅広く、それぞれの障がいの状況に応じた手厚いサポートが必要です。

児童生徒数の増加により教室不足や異常な過密状態が続いている特別支援学校の増設も急務。この間、日本共産党県議団がくり返し求める中、来春、岩槻に知的障害の児童生徒を対象にした特別支援学校が新設(30学級200人)し開校することに。

学校卒業後に働く場や、通院できる病院の拡充、年を重ねても暮らし続けられる入所施設の増設も必要。障がいのある方が、心地よく暮らせる社会は、誰にとっても心地いい社会でしょう。そんな埼玉を目指します。



県政トピックス

高校3年生へのワクチン接種支援

埼玉県が高校3年生へのワクチン接種支援をスタートします。すでに予約が開始されており、12月12日から14日の3日間、県のワクチン接種センター(4か所)にて実施するというものです。受験や就職を控えた高校3年生に第8波を前に接種を促すための取り組み。ぜひ、接種を希望する高校3年生の方は、県HPから予約を!





発行／日本共産党埼玉県議団

〒330-9301埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1埼玉県庁内
tel 048-824-3413 fax 048-825-1048 mail: jcp-sai@apricot.ocn.ne.jp

受験生をねらった

痴漢加害防止と被害者救済の強化を



「受験生をねらった痴漢の加害防止と被害救済の強化に関する申し入れ」

日本共産党埼玉県議員団が13日に政府に提出した「受験生をねらった痴漢の加害防止と被害救済の強化に関する申し入れ」は次の通りです。
痴漢は、もっとも身近な性暴力の一つであり性犯罪です。

本格的な受験シーズンを迎え、すでにSNS上に受験生を標的とした痴漢をめぐり投稿が散見されます。単発的な犯罪である上に、大勢の入試を受けた受験生には回避されないだろうと覚悟したものであり極めて悪質です。
日本共産党は、国会及び各地の地方議会で痴漢や痴漢被害の加害防止と被害救済の対策強化を求めてきました。政府として、この時期に合わせて全国的に対策を強化するよう、下記のとおり申し入れます。

1. 中学校、高等学校、大学などの受験シーズンに、痴漢被害を起さないよう、公共交通機関における痴漢を未然に防止すること。
鉄道事業者を含めて関係機関と連携し、駅係員の増員、電車の防犯設備、警備官による巡回を強化すること。
2. 「痴漢は犯罪」など、痴漢加害防止のためのアナウンス放送や電車の防犯表示、SNSでの呼びかけなどを強化すること。第三者が行動の必要性を具体的に意識できるよう「アクティブ・バイスタンダー（状況に応じて行動する性被害者）」の啓発を取り入れ、とりくみを行うこと。
3. 性被害・性暴力被害者のためのアンストップセンターや警察など関係機関に遭った際の相談体制について改善すること。
4. 痴漢被害のために大学入学テストに遅延する場合、教育機関の対策となる旨を周知すること。また、他の入試についても同様の対応となるよう働きかけを行うこと。
5. 「痴漢ゼロ」に向け、政府が検討中の「痴漢撲滅パッケージ」を早急に策定し、痴漢を防止するという立場を明確にした施策ある対策を行うこと。

山添拓参院議員らとともに政府に申し入れする秋山もえ県議(右から6人目)

今年も受験シーズンがやってきました。毎年この時期、SNS上では信じられない投稿が。試験会場に急ぐ受験生を付け狙った痴漢行為を、あおるような書き込みが増えるのです。昨年の同時期、日本共産党埼玉県議団に県民からメールでそうした情報とともに、埼玉県警へ警備強化を求める要望が寄せられ、知事に対し緊急に対応するよう申し入れました。

今年は、大学の共通テストの前日に、国会議員や東京都議会議員、神奈川県議、千葉県議とともに国に対して申し入れを行いました。痴漢はもっとも身近な性暴力のひとつであり、犯罪です。2019年の『犯罪白書』によると、痴漢件数は性的事件の中で最多。警視庁の20年のデータで、東京都の痴漢の発生場所は「電車」「駅構内」が半分以上を占めます。

受験シーズンはもちろんのこと、痴漢ゼロ実現のため、政治・行政が頑張る時だと痛感しています。



秋山もえのプロフィール

1976年(昭和51年)千葉県木更津市生まれ。新聞奨学生として働きながら大東文化大学国際関係学部(ウルトゥー語専攻)を卒業。上尾市議3期。現在、県議1期目。家族は夫と子3人。埼玉県手話通訳問題研究会会員。Ally(性的マイノリティ支持者)。身長170cm。趣味はカフェめぐり、セルフヨガ、ネイル、サウナ。

秋山もえ

YouTube

「秋山もえチャンネル」更新中



LINE公式アカウント

QRコードを読み取り「友だち追加」で秋山もえに直接LINEが送れます。



秋山もえInstagramでライブ配信

もえスタライブ

毎月第1土曜日 夜7時~10時頃まで



1月9日の「二十歳のつどい」で

上尾市・伊奈町で二十歳のつどい開かれる

上尾市と伊奈町で「二十歳のつどい」が開かれ、お祝いのメッセージを伝えるために、足を運びました。今年は統一地方選挙がある年なので、若いみなさんには、ぜひ選挙に行ってほしいと心から願っています。

最低賃金を時給1500円以上に！学費を半額にし無償化へ！一步一步、政治を変えていくために、二十歳のみなさんと手をつないで頑張らなくては！とあらためて胸に刻みました。



児童の通学路に手押し式の信号機設置を



大野町議とともに現地調査

昨年末、伊奈町で、児童が安全に通学できるよう見守ってくださっている方から要望が寄せられ、大野こういち町議とともに現地調査へ。児童が通る5か所ほどの横断歩道に、手押し式の信号機設置を、との要望です。

年明けに、埼玉県警本部に直接要望を届けました。今後、現地を見てもらい、どうしたら設置できるか、相談したいと思います。



県警本部に詳細説明

県道57号の修繕・側溝の掃除で水はけの改善を



県道57号線を現地調査

上尾市西貝塚を通る県道57号さいたま鴻巣線は、大型車含め交通量が多いにもかかわらず、歩道がとても狭く、危険です。道路を拡幅するには住民合意が必要なため、なかなか困難もありますが、「せめて傷みの修繕を」「下水が通っているあたりの道路が歪んでいる」との声が寄せられたので、現地調査へ。たしかに、傷みが激しい場所が複数ありました。

また、県道57号は上尾市小泉の大宮ゴルフ場内も通っていて、側溝に落ち葉などがたまり、水はけが悪くなっているとの情報が寄せられました。いずれの要望も、北本県土整備事務所にお伝えし、適切な修繕・側溝の掃除をお願いしました。



大宮ゴルフ場を通る県道57号線。水はけが悪く、道路が冠水。

県政トピック

秋山もえの4年間の活動紹介PV

秋山もえが県議4年間の活動で、どんな方たちの声を県政の場に届け、どんな施策を実現することができたか、県政のすべきことは何かなどを伝えるPVができました。YouTube秋山もえチャンネルから、ぜひご覧ください。



月刊もえ通信



2023年3月号 **3**
日本共産党
埼玉県議会報告
県議会議員 秋山もえ
(上尾・伊奈選出)

発行／日本共産党埼玉県議団

〒330-9301埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1埼玉県庁内
tel 048-824-3413 fax 048-825-1048 mail: jcp-sai@apricot.ocn.ne.jp

戦場の前線から自衛隊入間病院に傷病兵が搬送!?



入間基地でC2輸送機の説明を受ける秋山もえ県議

2月21日、航空自衛隊入間基地を視察しました。ここには、南西地域で有事が起きた場合、傷を負った自衛隊員などが、この基地内にある自衛隊入間病院にC2輸送機を使って搬送されてきます。戦争参加時に、ここが野戦病院となるということは、つまり、攻撃対象となる、ということ。

入間基地には、前年度と比較し3倍を超える210億円もの予算が今年組まれています。安保三文書の具体化・予算化が、わが埼玉から見えてくるということを実感します。

着々と進む有事対応の準備。これは戦争の準備にしかならないのではないのでしょうか。やるべきは外交。あきらめず対話を重ねることでは、平和な世界はつくれないと私は思います。

すすむ小堤防建設に向けた工事 十分な移転補償を

平方上宿地域は2019年10月12日の台風19号の際に、過去最大の甚大な被害を受けました。住民の皆さんから「堤防をつくってほしい」という強い要望を受け、私は県や国に、この声を届ける中、堤防建設が決まり、いま少しずつ工事が進んでいます。

2月26日に平方公民館で開かれた荒川上流河川事務所主催の「上尾市平方地区堤防整備事業に関する説明会」に参加しました。現在は、小堤防整備前の土台を低水護岸整備をしていて、この護岸整備が完了後、令和7年から小堤防整備、そして本堤防整備と進む予定です。

今後、工事の進捗を注視しつつ、移転を余儀なくされる方たちへの十分な移転補償がなされるよう要望していきます。



低水護岸整備の工事現場を視察する秋山もえ県議



秋山もえのプロフィール

1976年(昭和51年)千葉県木更津市生まれ。新聞奨学生として働きながら大東文化大学国際関係学部(ウルドゥー語専攻)を卒業。上尾市議3期。現在、県議1期目。家族は夫と子3人。埼玉県手話通訳問題研究会会員。Ally(性的マイノリティ支持者)。身長170cm。趣味はカフェめぐり、セルフヨガ、ネイル、サウナ。



LINE公式アカウント

QRコードを読み取り「友だち追加」で秋山もえに直接LINEが送れます。

医療的ケア児のご家族の負担軽減を要望 実現へ



医療的ケア児支援センターについて県直営での実施を県に求める秋山もえ県議(左奥・2022年5月19日)

日本共産党県議団は、医療的ケアが必要なご家族に対する負担軽減をくり返し求めてきました。24時間365日、一日も休まることのないご家族の、悲痛な声を伺ってきたからです。なかでも、特別支援学校での、母親の授業付き添い負担軽減と、スクールバスへの看護師同乗で、通学時のご家族の負担を軽減するよう要望してきました。

これらの要望が今、実り始めています。今年2月定例会で、医療的ケア児の通学時の経済的負担軽減として、スクールバスを利用できない医療的ケア児が福祉タクシーを利用する場合、同乗する看護師費用への支援が提案されました。50人の利用を見込んでいるとのこと。校内への看護師の配置についても、モデル校1校で効果検証する方向です。

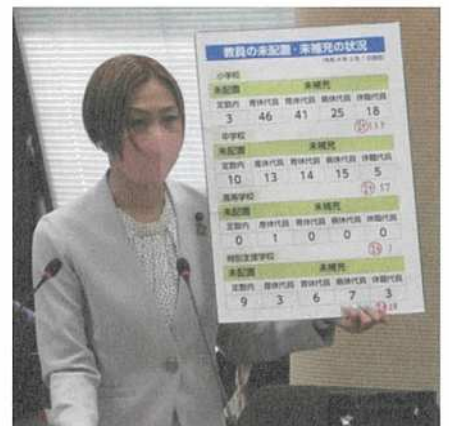
また、今年1月25日、念願の医療的ケア児等支援センターが開設。しかも強く要望してきた県直営のセンターです。本当に嬉しいです。さらに、地域センターも医療型障害児入所施設カルガモの家内に開設され、今後さらに地域センターが増設予定です。一步一步ですが、進みだした医療的ケア児への支援。まだまだ十分とは言えませんが、これからも、ご家族のみなさんの声をうかがい、その声をまっすぐ確実に県に届け、実現を目指して頑張りたいと思います。

教員の未配置・未補充 解決へ一步一步

教員の産休代替や病休代替が見つからず、県内で200人近い教員の未配置・未補充が起きている問題を、県議会でくりかえし取り上げてきました。これを受け、2021年12月、県庁内に検討対策チームを立ち上げ、対応が始まっています。

今年2月定例会では、教員を増やしていく方向で、すこし改善が見られました。5～7月に産休・育休となる教員への代替教員を4月当初から配置できるように国が教員加配の運用を見直したものの。

今後も国に対し、教員定数を見直し先生を増やして、ゆとりある教育環境の整備を求めつつ、臨時的任用教員率が10～15%と全国で8番目に多いのが埼玉県なので、しっかり正規での雇用を求めていきたいです。



2022年3月の予算特別委員会で質問する秋山もえ県議

県政トピックス

待ったなしの気候危機対策 いよいよ埼玉県もゼロカーボン宣言へ

私は県議になってから、くりかえし気候危機問題に埼玉県として本気で取り組むことをもとめ、「ゼロカーボン宣言」を宣言をせよと知事に迫ってきました。今年の2月定例会のなかで、3月以降に埼玉県として「ゼロカーボン宣言」をする準備をしていくという発言が知事からあり、とても嬉しく思っています。いよいよ、埼玉県も本気モードですね！



#日本共産党 #埼玉県議 #秋山もえ